



J S 技術開発情報メール

2018.3.28 No. 197



いつも「J S 技術開発情報メール」をお読み頂き、ありがとうございます。

年度末です！皆さまお忙しくお過ごしのこととと思います。事故なく、けがなく、健康に今年度を締めくくりたいものです。がんばってまいりましょう！！

それでは今月号も最後までおつきあいください。



<< もくじ >>



『1』 はじめに

◆「恩返し・恩送り」

(技術戦略部長 日高 利美)

『2』 トピックス

◇技術評価委員会を開催しました

(技術開発企画課)

『3』 技術情報

◆よく見かける下水道用語 「硫化水素」

(技術基準課)

『4』 下水道よもやま話

◇下水道と水産業

(福島再生プロジェクト推進室長 藤本 裕之)

『5』 国際戦略室からのお知らせ

◆国・公共団体・企業の主に海外の水関連の動き (2月分)

『6』 国際戦略室からのお知らせ

◇ベトナム通信第10号

◆平成29年度JSの国際業務3大ニュース等

(国際戦略室)

『7』 編集後記

~~~~~  
《 1 はじめに 》  
~~~~~

◆◇「恩返し・恩送り」◇◆

3月も半ば過ぎとなり、急に春めいたせいか JS 近くの湯島天神の梅花もすでに多くが散っています。ほんの一週間程前の満開時は、梅林の下を通ればその香りがわずかに漂っていました。また、自宅近くの多摩川堤防には桜並木があり、その一角に河津桜が5本ほど植わっております。数日前までは満開でしたが、今は多くが葉桜となり主役の座をソメイヨシノに譲りつつあります。

少し前になります。冬季オリンピックも史上最多の13個のメダルを獲得し、無事終了しました。男子フィギュアスケートのワンツーフিনিッシュや、女子スピードスケートの輝かしい成果の他、「そだねえ JAPAN」や「もぐもぐタイム」等の流行語を生みだし銅メダルに輝いた女子カーリング競技の生中継には、世のおじさま方同様私もTVにくぎ付けとなりました。パラリンピックも前回は上回るメダル獲得の成果を上げています。

3月11日で、あの未曾有の大震災から7年が経ちました。当日は日曜日でもありTVで特別番組を多く放映していました。ある民放の昼の特番を見ているときに、宮城県石巻市で被災された女性の方が出演されました。ご両親と23歳の息子さん、9歳の娘さんを津波で亡くされたとのことでした。TVを見ていて「あっ、あの人だ!」と思わず叫びました。

6年前、東日本大震災1周年追悼式に宮城県遺族代表で「ことば」を述べられた石巻市の奥田さんでした。当時TV放送を見ており、家族を亡くした悲しさ・悔しさや、自分だけが何故生きているのか、今から何を糧として生きていけばいいのか、ご遺族の真の気持ちを目の当たりにしました。あの方が、7年経って、当時たくさんの人から受けた支援のお礼を、震災の教訓を後世のためにTVを通して伝えている姿に勝手ながら安心し、勇気づけられました。

(追悼式でのことばはこちらをご参照ください。▼

「朝日新聞デジタル〈東日本大震災追悼式〉宮城県遺族代表のことば(2012年3月11日)」

<http://www.asahi.com/special/10005/TKY201203110163.html>)

昨年度末までの4年間、JS東北総合事務所で東北6県の下水道整備及び震災復旧・復興事業に傾注してきました。被災3県につきましては、進捗は異なりますが復旧・復興事業は確実に進捗していますが、原発事故の福島浜通り地区の一部においては、7年前のまま、未だ全く手つかずの場所もあります。

東北総合事務所在勤中、公私を通して多くの方々と震災当時の話をする機会がありました。震災の身近さと悲惨さに胸が痛くなるとともに、皆さんが異口同音に口にするのが「無念さは勿論のこと、国内外の多くの人から受けたご支援に対する感謝と、今後はそのご支援に対してのご恩返しの気持ち」でした。

人は生を受けてから死ぬまで、いろいろな社会と繋がって生きています。家族社会、子供社会、学生の社会、大人社会等様々です。その社会の中で「助け、助けられ」ながら成長していきます。東京五輪開催が決まった時の日本人的な、印象的な言葉は「おもてなし」でした。今回の大震災では2万人を超す多くの尊い命が奪われました。しかしながら、皆が「がんばろう」、「絆」を合言葉に立ち上がり、受けたご支援に対しては「恩返し・恩送り」として次に繋いでいく、今度は東北被災地から熊本地震等の被災地へ繋げていっています。これらの気持ちや行動力を常に持ち続けたいものです。

年度末になり、次年度、人事異動等職場環境が変わられる方も多いかと思えます。今年度、本メルマガをご愛読頂いた皆様に改めて御礼申し上げますとともに、異動等ありましても、JSホームページから簡単にアクセスできますので、引き続きのご愛読をお願いします。

(技術戦略部長 日高 利美)

~~~~~  
《 2 トピックス 》  
~~~~~

◆◇技術評価委員会を開催しました◇◆

3月27日（火）に第77回技術評価委員会を日本下水道事業団本社にて開催しました。

委員会では、技術評価の実施対象等について審議を行うとともに、基礎・固有調査研究の中期計画の策定、試験研究の実施状況について報告しました。

▼関連サイト↓技術評価委員会

<https://www.jswa.go.jp/g/g4/g4g/giinkai.html>

（技術開発企画課）

~~~~~  
《 3 技術情報 》  
~~~~~

◆◇よく見かける下水道用語◇◆

「硫化水素」

今年度の当メルマガNo.192、194で消化ガス有効利用関連の用語が取り上げられていましたので、今回の「よく見かける下水道用語」は、消化ガス有効利用の邪魔者である『硫化水素』といたしました。

1. 硫化水素臭

硫化水素臭は、「卵の腐ったようなにおい」という表現をされますが、一般に「硫化水素臭」で通じるほど、硫化水素は、クサイ気体です。

ところで実際に・・・・

▼続きはHPで↓

<https://www.jswa.go.jp/g/g5/g5m/mb/pdf/197-1.pdf>

（技術基準課）

~~~~~  
《 4 下水道よもやま話 》  
~~~~~

◆◇下水道と水産業◇◆

下水道関係の英文雑誌を見ていると、「ウォーター・リソース・リカバリー・ファシリティ」という言葉を見かけるようになりました。水資源回収施設？？何か特殊な施設なのかと思って読み進むと、下水処理場のことでした。最近では、下水から、再生水だけでなく、電力や熱などのエネルギーやリンなどの資源も回収できるようになって来ましたので、下水処理場は「水資源回収施設」の名にふさわしい施設になって来ました。日本でも・・・・

▼続きはHPで↓

<https://www.jswa.go.jp/g/g5/g5m/y/pdf/y176.pdf>

（福島再生プロジェクト推進室長 藤本 裕之）

~~~~~  
<< 5 国・公共団体・企業の主に海外の水関連の動き（2月分） >>  
~~~~~  
■国・地方公共団体・企業の水関連の主に海外での動きなど（2月分）

日付 キーワード URL

2/19 水道水の飲める国  
<https://ovo.kyodo.co.jp/news/life/travel-news/a-1126564>

2/22 ガザ地区 未処理下水 放出  
<http://www.afpbb.com/articles/-/3163629>

2/26 トイレ ピクトグラム 国際標準化  
<http://www.meti.go.jp/press/2017/02/20180226002/20180226002.html>

（国際戦略室）

~~~~~  
<< 6 国際戦略室からのお知らせ >>  
~~~~~

◆◇ベトナム通信 第10号◇◆

JICA専門家（ベトナム：下水道計画・実施能力強化支援技術協力プロジェクトビジネスプラン策定支援）若林です。

今回は、Progress Report 報告会及びベトナムの旧正月（テト）について報告いたします。

1. Progress Report 報告会について

先日、ナムディン市パイロット事業で実施中のセクターマスタープラン（下水道事業計画）策定業務に関し、Progress Report 報告会がナムディン市で開催されました。

Progress Report 報告会とはいわゆる中間報告で.....

▼続きはHPで↓

<https://www.jswa.go.jp/g/g5/g5m/mb/pdf/197-2.pdf>

◆◇平成29年度JSの国際業務3大ニュース等◇◆

早いもので平成29年度が終わろうとしています。

さて、JSに平成23年度に国際室（平成27年度から国際戦略室）が誕生して7年。

JSの実施する国際業務も次第に軌道に乗ってきました。今回は、平成29年度最後のメールマガジンですので「平成29年度JSの国際業務3大ニュース等」と題しまして、平成29年度に実施したJSの国際業務を振り返ってみたいと思います.....

▼続きはHPで↓

<https://www.jswa.go.jp/g/g5/g5m/mb/pdf/197-3.pdf>

（国際戦略室）

~~~~~  
<< 7 編集後記 >>  
~~~~~

今月号も最後まで読んで頂き、ありがとうございました。

3月は別れの季節でもあります。出会えて一緒にお仕事をする事ができて良かったと感謝をする季節であるようにも思います。

忙しい時だからこそ感謝の気持ちを忘れないで丁寧に毎日を過ごしたいと思います。

新年度も引き続きメルマガをご愛読くださいますよう、お願いいたします。

